

対象
高校生
・
成人

COORDINATE
CONTIGUOUS
CAREER

C³ PROJECT



C³(Coordinate Contiguous Career)プロジェクトは、「すべての人には、個性と才能がある」という考えに基づいて、“自由と勇気”をもって自分の道を歩む人を応援します。少子化、超高齢社会により労働人口の減少で人材不足が深刻化する現代において、人材確保の焦点は社内人材の育成・活用へと方向転換していることを背景に、学校から職場までの切れ目のないキャリア教育が必要です。今までの集団講習、職業ありきの体験学習や適性診断ではなく、変わりゆく社会に適応し個人の個性や特徴をうまく生かせる能力(基礎的・汎用的能力*)の自己理解と育成を行うことで、個人に合ったキャリア形成、さらにはキャリアアップを目指します。



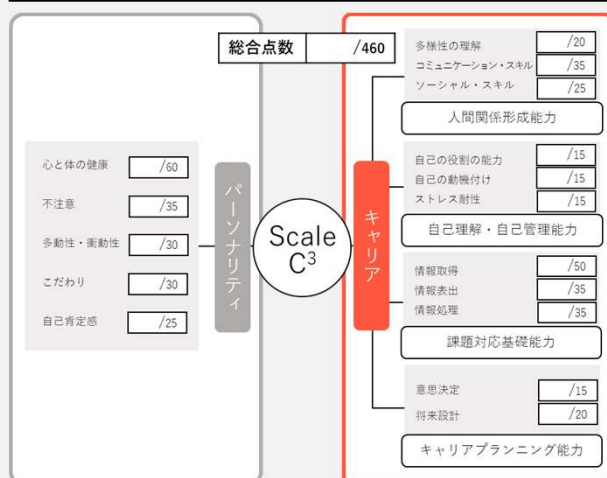
Scale C³™は、QOL向上を視野に入れた“キャリア形成”の観点から個人の個性や特徴、そしてキャリア教育のニーズを把握するツールです。企業で重視される資質**としての“パーソナリティ”とキャリア教育で育成すべき能力の“キャリア”の観点から実態把握を行います(①)。専門家になると、2つの側面から包括的に分析することで、「個別のキャリア教育プラン」を作成することができます(②)。現在、教員や職場リーダーなどが使用する他者評価用と、高校生版と成人版の自己評価用が開発されています。信頼性・妥当性が検証された科学的な評価尺度です。

* 労働政策研究・研修機構 (2013)『構造変化の中で企業経営と人材のあり方に関する調査』; 厚生労働省 (2013)『平成25年度版 労働経済の分析(要約版)』構造変化の中で雇用・人材と働き方-1の調査を引用・参考。
** 中央教育審議会 (2011)『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)』; 文部科学省 (2012)の『高等学校キャリア教育の手引き』より引用・参考。

パーソナリティとキャリアの『16領域92項目』

所要時間：5～15分

※初心者約15分、経験者5分程度



step 1

項目のチェック

項目は、1～5の5段階でチェックします。自己評価は、自分の普段の行動を思い返しながらかheckします。他者評価では、対象者の様子を見たり、思い浮かべたりしながらチェックします。

step 2

スコアシート

項目のチェックが終わったら、各領域の合計点数をスコアシートに転記します。このシートによって、個性や特徴、キャリア教育、キャリア形成的ニーズがある領域が見やすくなります。

- 対象者の個性や特徴に合わせた個別のキャリア形成プログラムが作成できます。
- Scale C³™を用いることで、職場でみられる対象者の様子から、現時点で対象者が抱えているニーズをとらえることができます。また、対象者を見る視点を互いに共有することで、職場内での共通言語として使用できます。
- また、共通言語として互いに共感する場や機会を設けることを可能とします。



個人情報 および データの取 扱い

本プロジェクトで得られたデータは、研究および支援事例の蓄積以外の目的で用いることはありません。取り扱う情報はすべて匿名化し、研究結果は個人が特定できない形で学会発表や論文などで公開する予定です。これらの研究の積み重ねにより、多くの人材が最適なキャリアを形成し、またキャリアアップすることで社会に寄与できると考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
現在、紙媒体と電子版にてデータを収集していますが、Scale C³™が分析に必要とする情報は、「年代」「性別」「勤続年数」「評価者」と対象者の関係「評価点」のみであり、個人情報に該当する内容を含みません。紙媒体で収集されたデータについては施錠できるロッカーで保管し、収集されたすべてのデータは数値化し統計的に処理され、特定のUSBメモリに保存した上で、施錠できるロッカーで厳重に管理します。また、統計処理後、一定期間経過後に粉砕・破壊します。ただし、方が個人が特定できるとされる記載があるデータが収集された場合は、ただちに除外し破壊します。また、成果の報告等においては統計処理後の個人を特定できない数値・記号等からなる情報のみ利用します。

職業適性ではない—

“自己理解”によるキャリアマネジメント

Scale C³™は「職業適性診断ツール」ではありません。自分の個性や特徴を知ることにより、キャリア形成やキャリアアップを自分でマネジメントするためのツールです。今ある「職業」が未来にあるとは限りません。そんな予測できない環境に適応するためのキャリアマネジメントには、自己理解が不可欠です。学校におけるキャリア教育も、職業ベースの集団活動から個人のキャリアマネジメント力の育成にシフトしています。また、現状からのキャリアアップを目標とする時には、その具体的な方向性を探るためのツールにもなります。

空気を読むことだけが協調性なのか？

“他者理解”で組織が潤う

空気を読むことに縛られると“その人”を見落としてしまいがちで、お互い人間関係にストレスを感じることがあります。しかし、ストレスは相手の言動が理解できないからであり、分かれば対応する側もされる側にも余裕ができます。他者を理解することで、人間関係がプラスに働くだけでなく、集団の中での“その人”の役割や強みが分かります。協調性は、その場の空気を読むといった個人的なものではありません。“他者理解”によってお互い歩み寄ることで、組織的な協調性が育まれます。言動には個々の背景があり、Scale C³は個性や特徴を知って相手に寄り添う理解の一步として、組織の潤滑油の役割を果たします。

個性なしに、発展はない。
個性なしの人間は“いない”。

個性・特徴がない人間はいません。もし「無個性です」という人がいれば、それはまだ自分を知らないだけです。Scale C³™は普段の行動や周りに見せている姿を科学的に検証された項目に沿ってチェックしていくので、思い込みや決めつけではない客観的な評価によって、その人の個性・特徴を把握します。すべての人が個性や特徴を発揮できるからこそ、新しいアイデアが生まれ集団に発展をもたらすのです。

時代は、組織内での人材活用・育成
リーダーの“チームマネジメント力” 向上

教員や職場リーダーは、Scale C³™を共通言語にして当事者と周りの目線を合わせることができます。集団の構成員の特徴を把握することで、適材適所の人材配置や必要な教育的支援の提供など、チームや学級内のマネジメントツールとして活用することができます。また、一人の能力には限界があります。しかし、Scale C³™を活用することで、チームや学級内でお互いの強みを生かし、弱いところを補いながらチームとして最大限のパフォーマンスを発揮することにつながります。

